

2023年3月期 第3四半期 決算説明資料

株式会社 チノー
(東証プライム : 6850)

1.2023年3月期 第3四半期決算

- 1) 決算ハイライト
- 2) 業績サマリー
- 3) 営業利益増減分析
- 4) 四半期別連結売上高の推移
- 5) セグメント別の業績動向
- 6) 連結貸借対照表
- 7) 地域別売上高

2.株主還元

3.トピックス

4.通期業績予想

1. 2023年3月期 第3四半期決算

1) 決算ハイライト

2023年3月期 第3四半期 連結業績

受注高



21,638百万円

前年同期比 16.7%増



売上高



16,198百万円

前年同期比 10.5%増



受注高は、脱炭素関連（燃料電池評価試験装置や水素のエネルギー利用の研究・開発用途の水電解評価装置）の需要拡大により大幅に増加。

売上高は、当社顧客（製造業）の設備投資が堅調に推移し、脱炭素関連の設備投資拡大により増収。

<利益面>

営業利益



1,091百万円

前年同期比 45.6%増



経常利益



1,342百万円

前年同期比 45.6%増



四半期純利益（親会社株主に帰属）



814百万円

前年同期比 70.9%増



利益は、増収・原価率の低減等を主因とし各項目とも増益

2) 業績サマリー (1)

◇ 連結業績

(百万円)

	FY2021 3Q累計	FY2022 3Q累計	対前期増減額	対前期増減率
受注高	18,543	21,638	3,094	16.7%

	FY2021 3Q累計	FY2022 3Q累計	対前期増減額	対前期増減率
売上高	14,658	16,198	1,539	10.5%
売上総利益 ＜利益率＞	4,710 ＜32.1%＞	5,281 ＜ 32.6% ＞	570 ＜0.5p＞	12.1%
営業利益 ＜利益率＞	749 ＜5.1%＞	1,091 ＜ 6.7% ＞	341 ＜1.6p＞	45.6%
経常利益 ＜利益率＞	922 ＜6.3%＞	1,342 ＜ 8.3% ＞	420 ＜2.0p＞	45.6%
四半期純利益 (親会社株主に帰属) ＜利益率＞	476 ＜3.2%＞	814 ＜ 5.0% ＞	337 ＜1.8p＞	70.9%

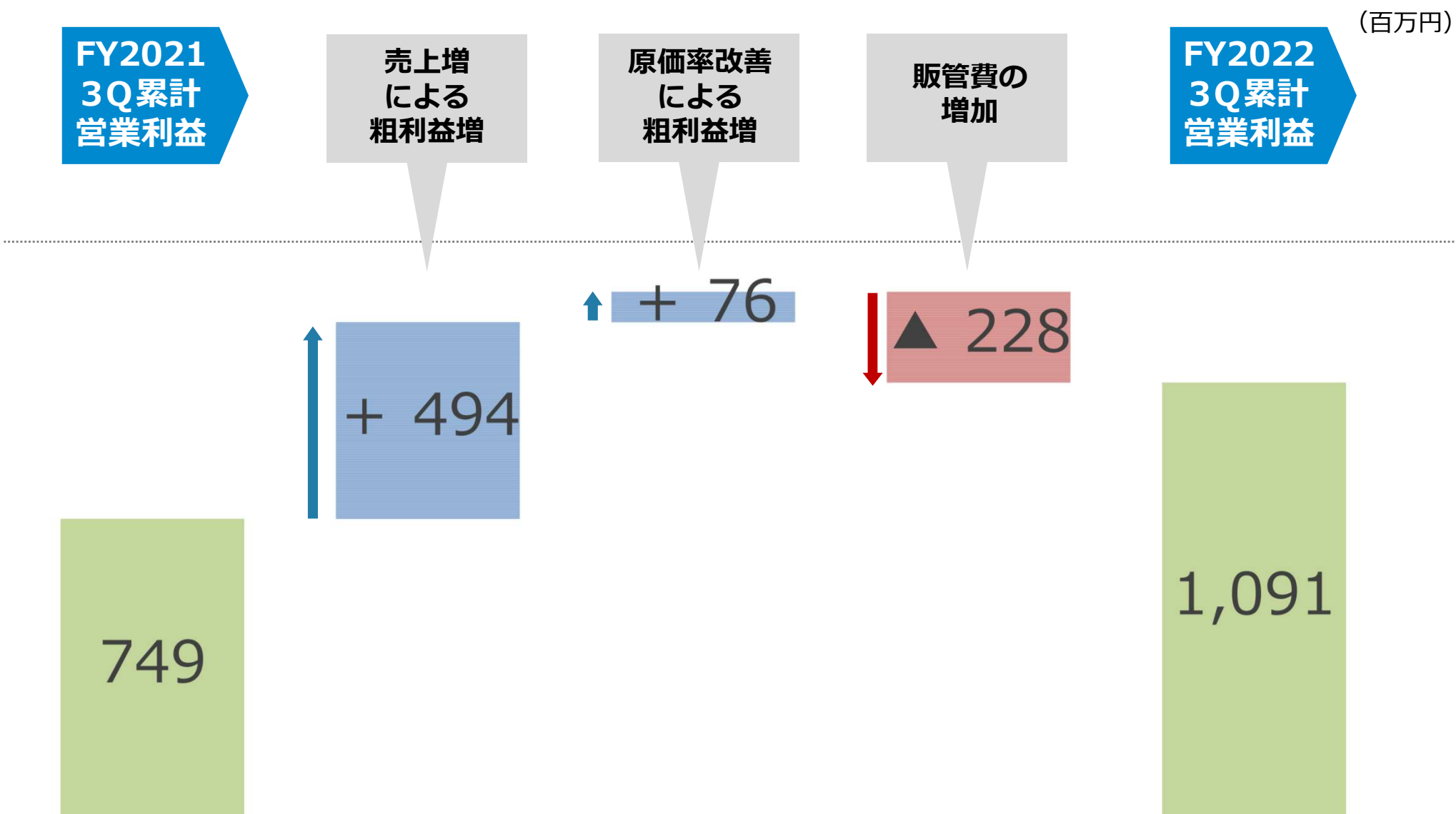
2) 業績サマリー (2)

◇セグメント別業績

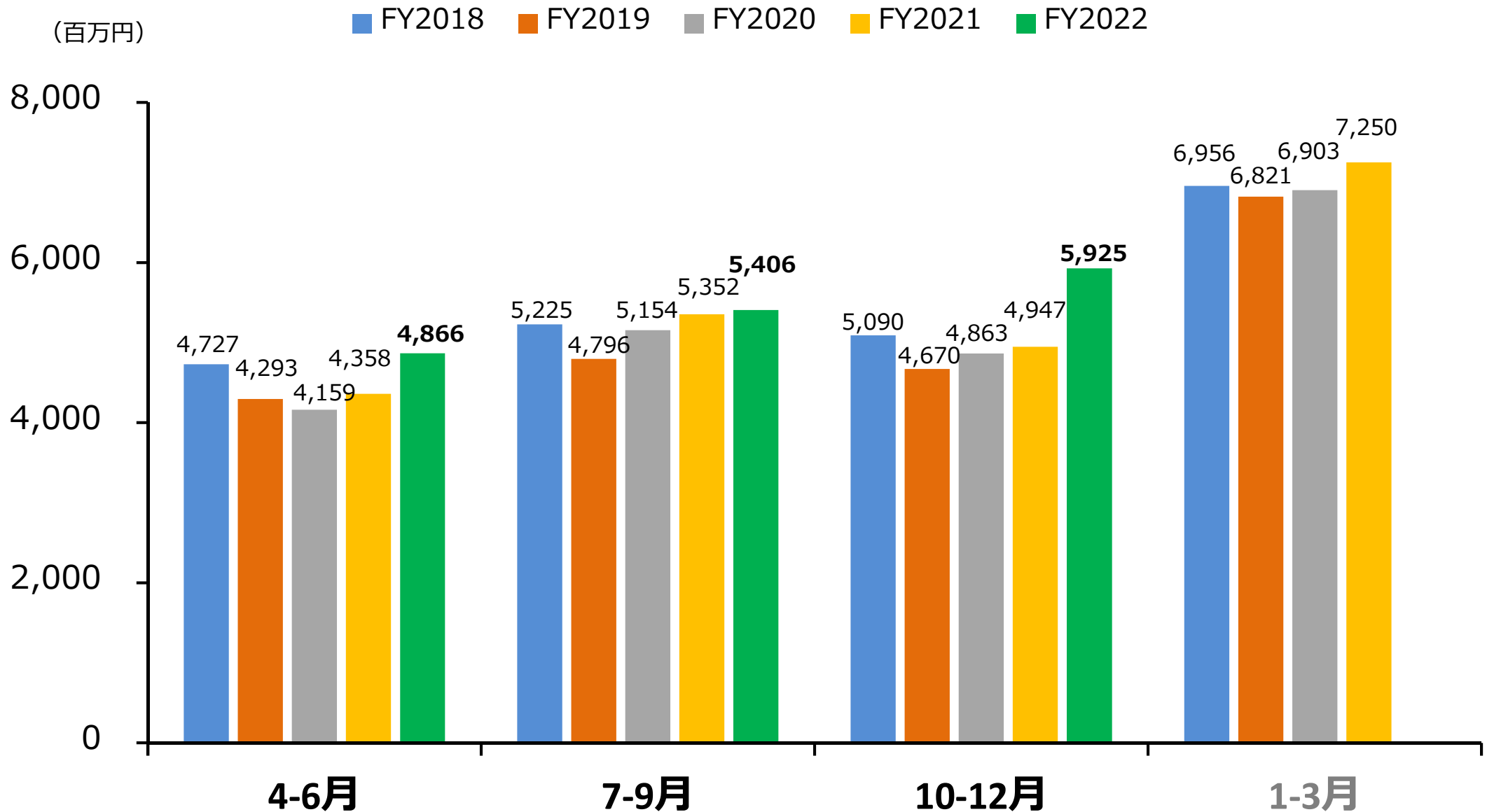
(百万円)

	受注高				売上高				セグメント利益 (営業利益)			
	FY2021 3Q累計	FY2022 3Q累計	増減額	増減率 (%)	FY2021 3Q累計	FY2022 3Q累計	増減額	増減率 (%)	FY2021 3Q累計	FY2022 3Q累計	増減額	増減率 (%)
計測制御機器	6,077	6,513	435	7.2	5,644	6,136	492	8.7	655	777	121	18.6
計装システム	6,871	9,086	2,214	32.2	3,617	4,404	786	21.7	219	600	380	173.7
センサ	5,116	5,491	375	7.3	4,819	5,000	181	3.8	937	804	▲ 133	▲ 14.2
その他	479	548	68	14.4	577	656	79	13.8	102	150	47	46.3
全社費用									▲ 1,166	▲ 1,241	▲ 74	—
合計	18,543	21,638	3,094	16.7	14,658	16,198	1,539	10.5	749	1,091	341	45.6

3) 営業利益増減分析



4) 売上高の推移



5) セグメント別の業績動向 ① 計測制御機器

損益状況

売上高



6,136百万円 前年同期比 8.7%増



セグメント利益



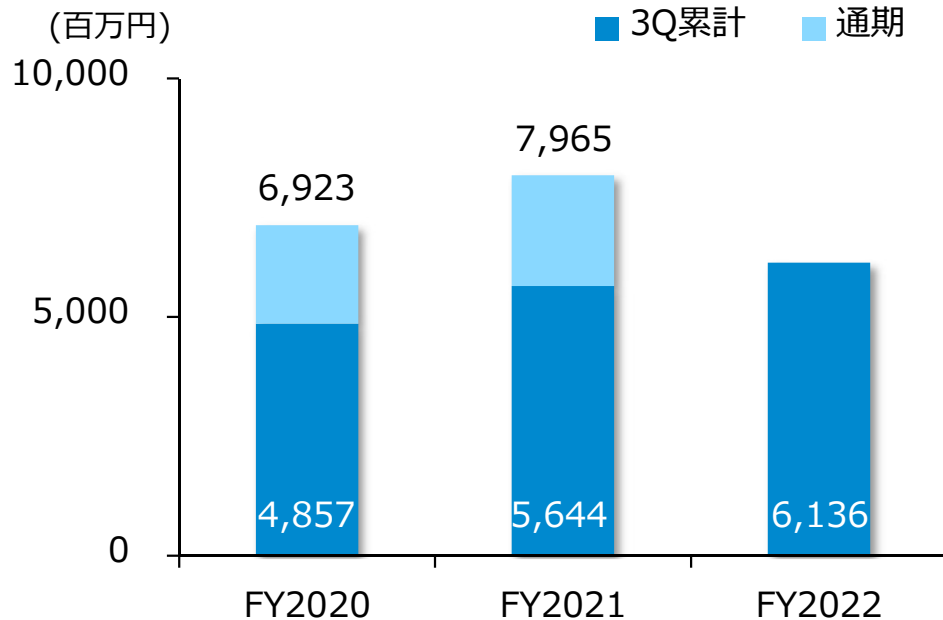
777百万円 前年同期比 18.6%増



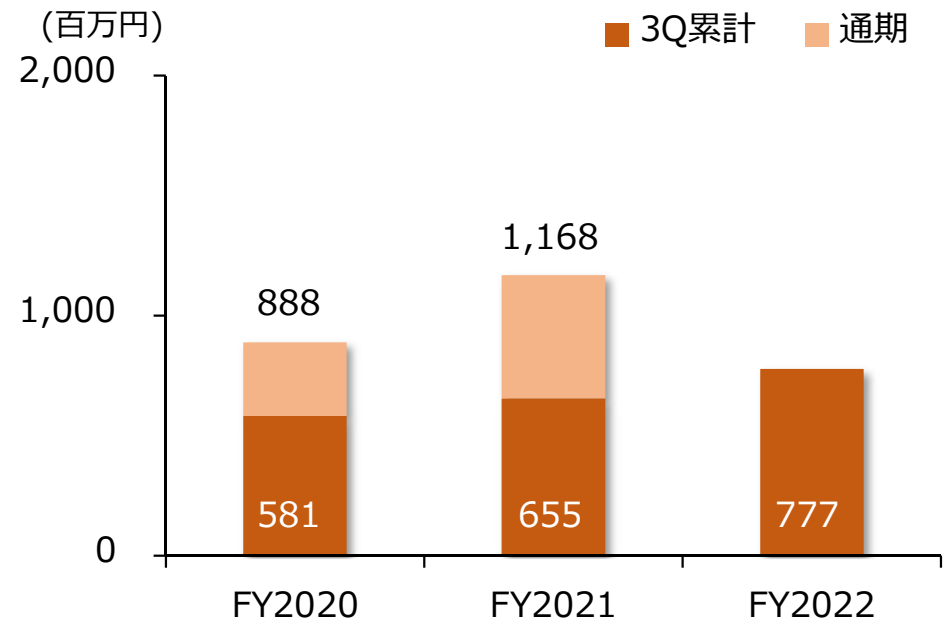
製品別状況

- 半導体・電子部品の製造設備や熱処理装置向けを中心に需要は堅調
- 海外市場（特に中国、韓国、インド等）の需要が伸長

<売上高>

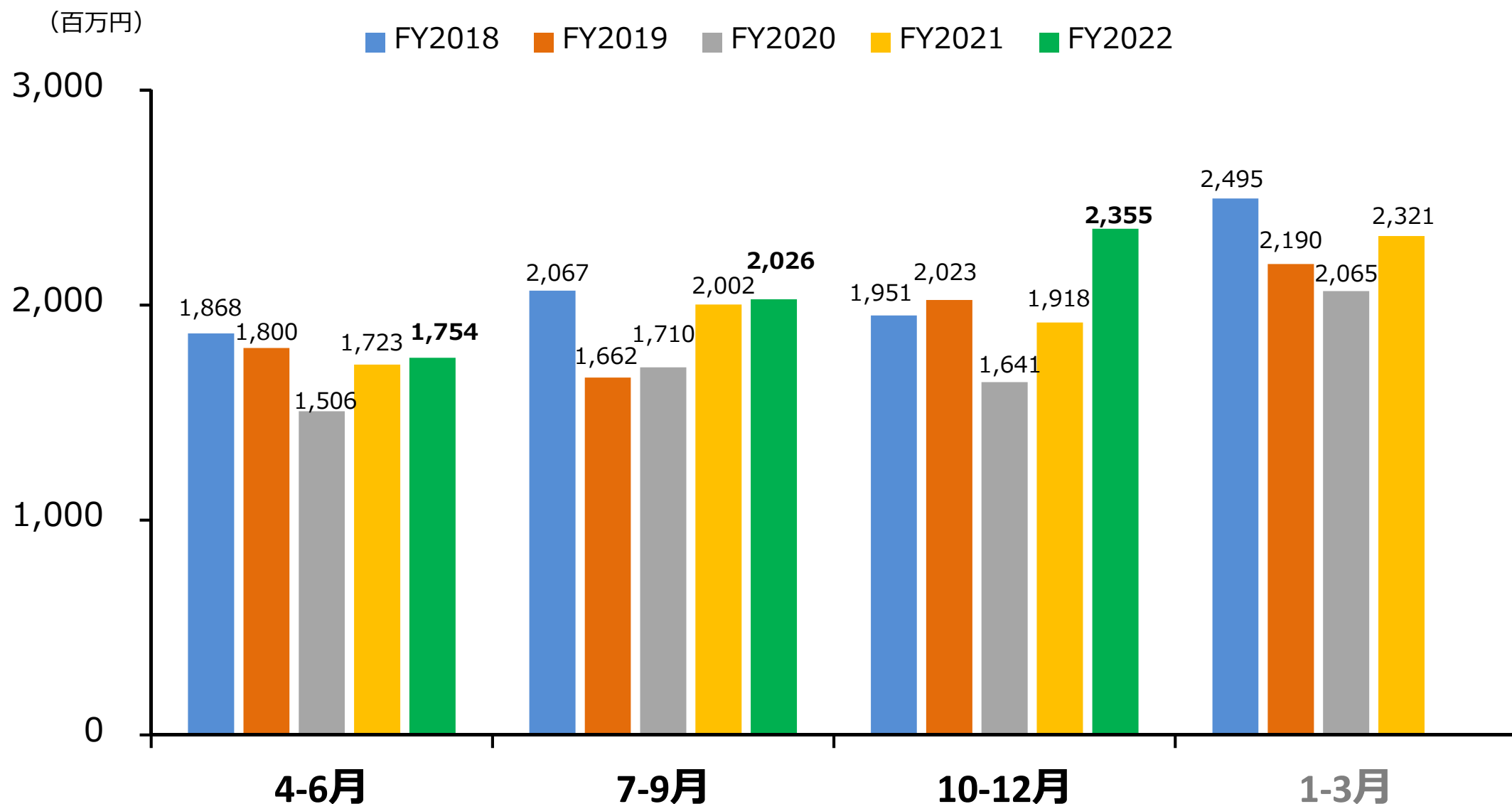


<セグメント利益>



5) 売上高推移

① 計測制御機器



5) セグメント別の業績動向 ② 計装システム

損益状況

売上高



4,404百万円 前年同期比 21.7%増



セグメント利益



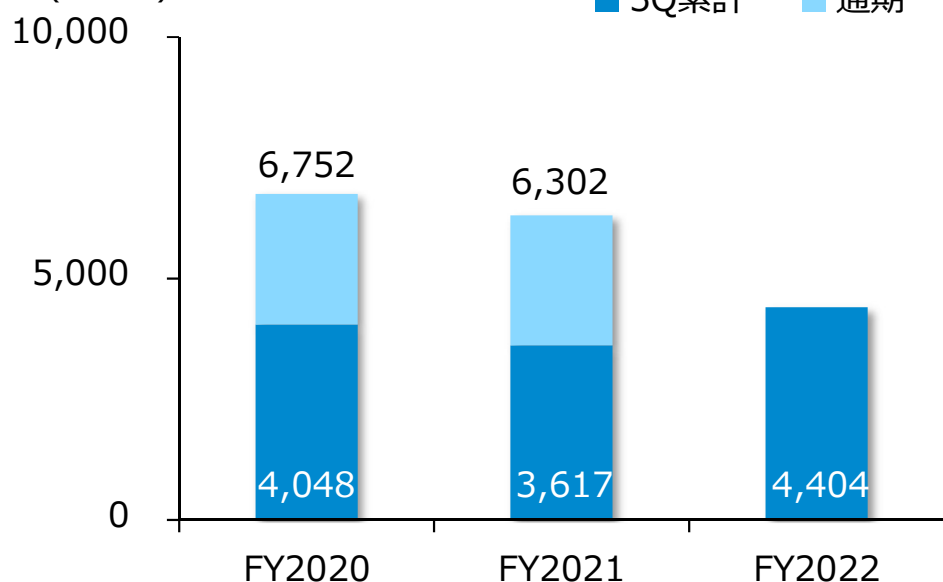
600百万円 前年同期比 173.7%増



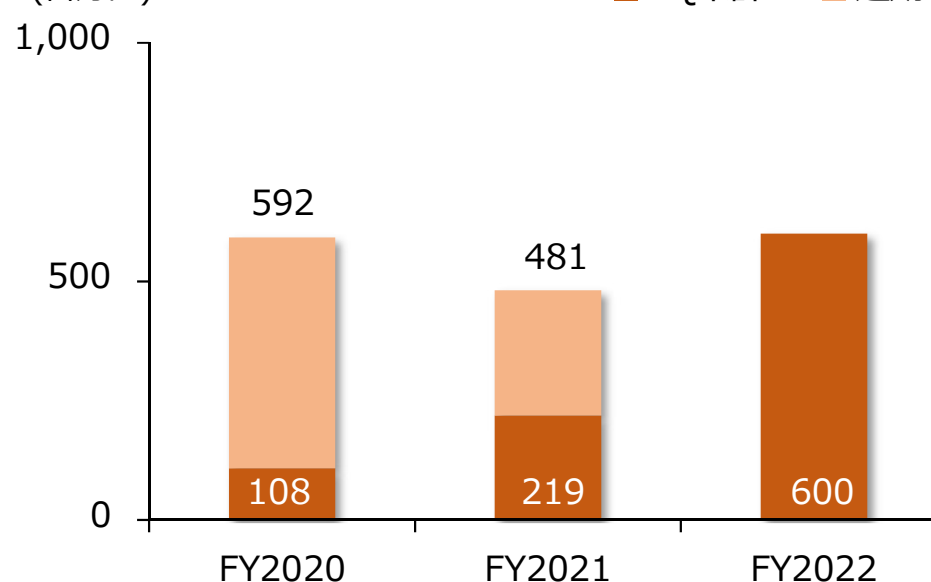
製品別状況

- 脱炭素関連として、自動車向けなどの燃料電池評価試験装置や、水素エネルギー利用の研究・開発用途の水電解評価装置の需要が拡大
- コンプレッサー評価試験装置は売上高が回復傾向
- 前年同期比では、増収および原価率の低減等を主因とし大巾増益

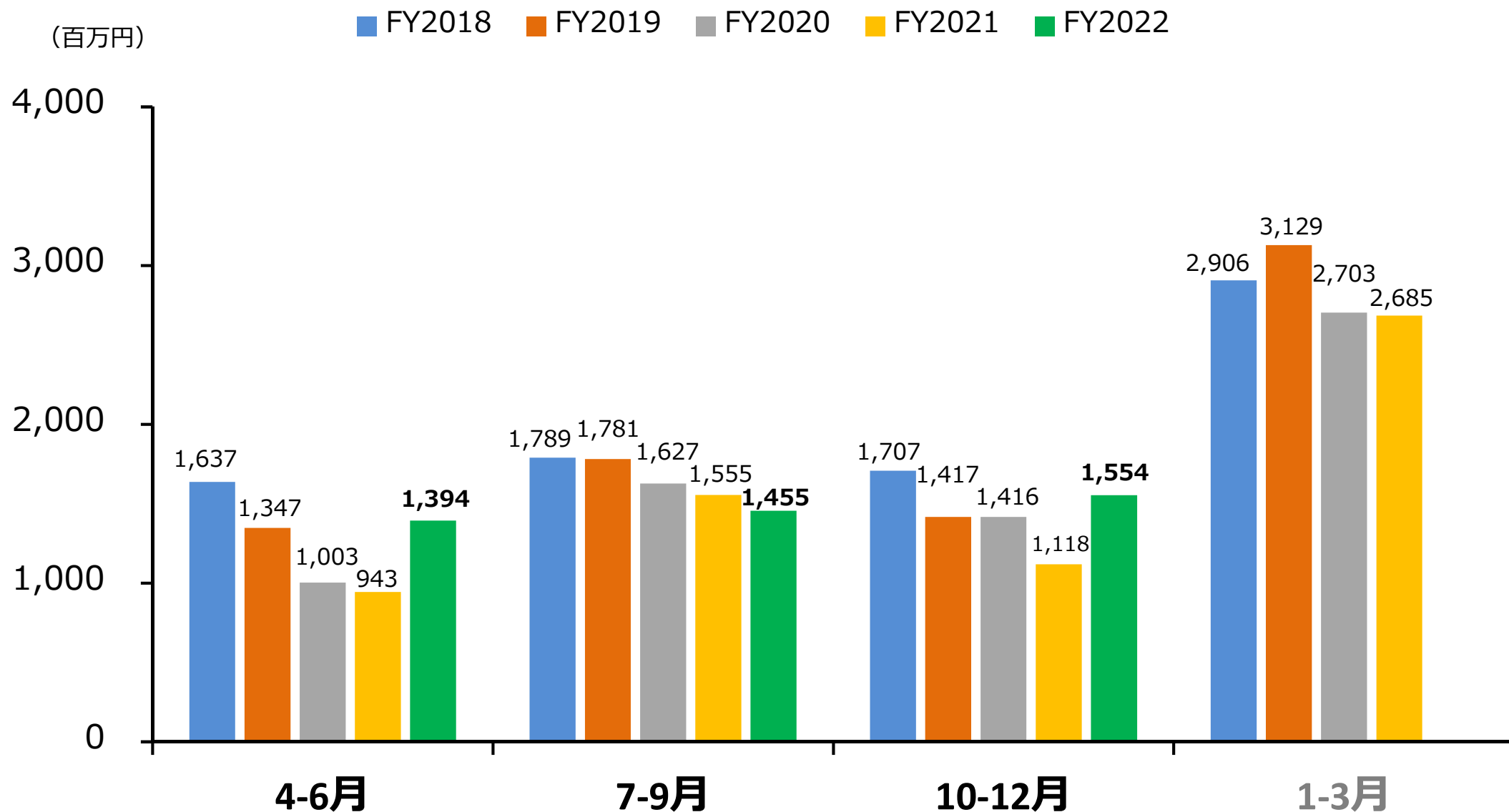
<売上高>
(百万円)



<セグメント利益>
(百万円)



5) 売上高推移 ② 計装システム



5) セグメント別の業績動向 ③ センサ

損益状況

売上高



5,000百万円 前年同期比 3.8%増



セグメント利益



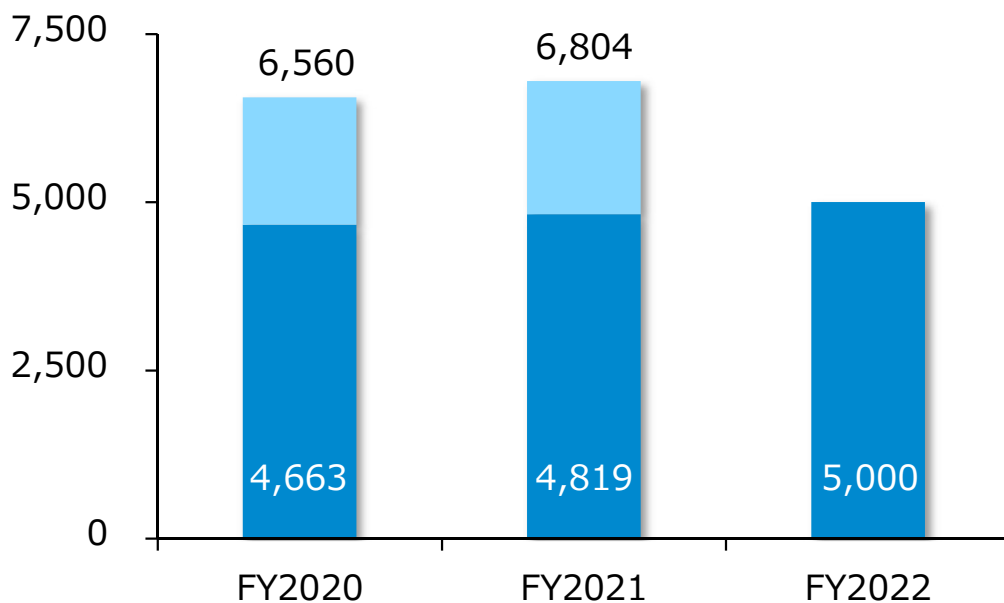
804百万円 前年同期比 14.2%減



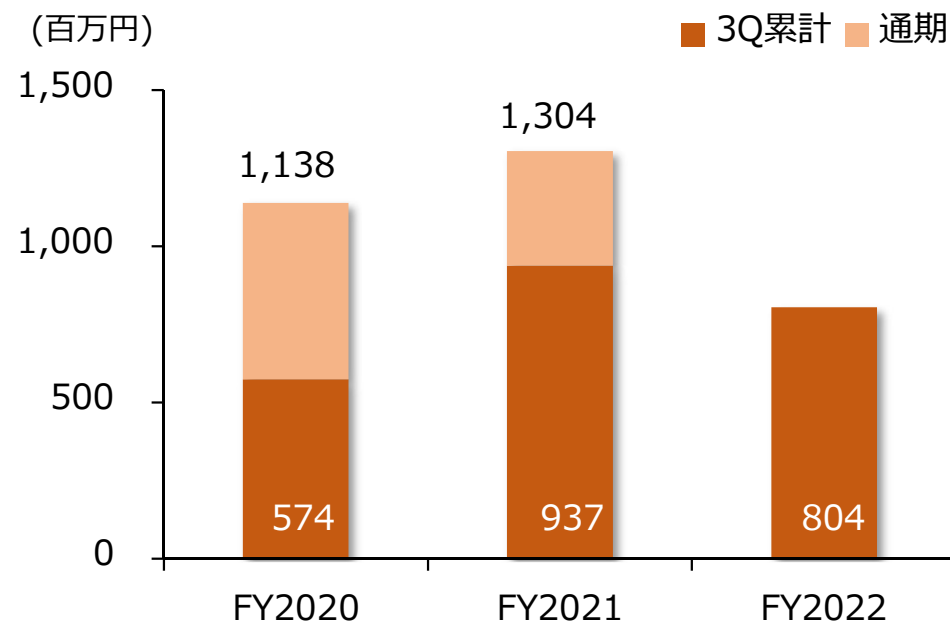
製品別状況

- 放射温度計、温度センサともに半導体関連の製造装置向けを中心に需要が好調
- AMS規格対応の温度センサの需要が堅調 ※AMS規格：航空宇宙産業における特殊工程の規格
- 部材価格高騰の影響等により減益

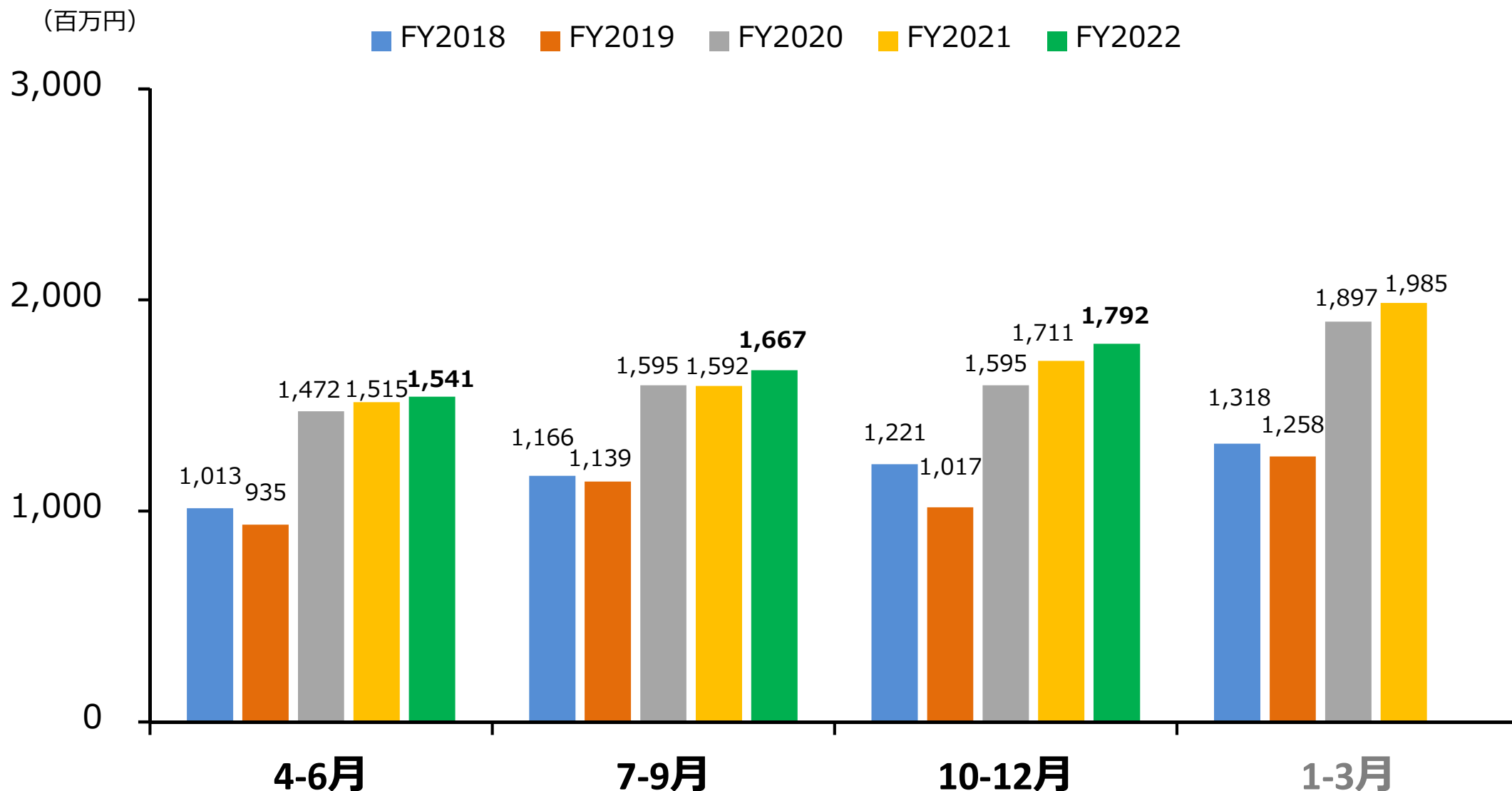
<売上高>
(百万円)



<セグメント利益>



5) 売上高推移 ③ センサ



6) 連結貸借対照表

- 資産 売上債権が減少した一方で、棚卸資産が増加し、前期末比1,300百万円の増加
- 負債 長期借入金の減少等により固定負債は261百万円減少した一方で、流動負債が891百万円増加したことにより、負債合計は前期末比629百万円の増加
- 純資産 株主資本の増加が主因で、前期末比671百万円の増加

(百万円)

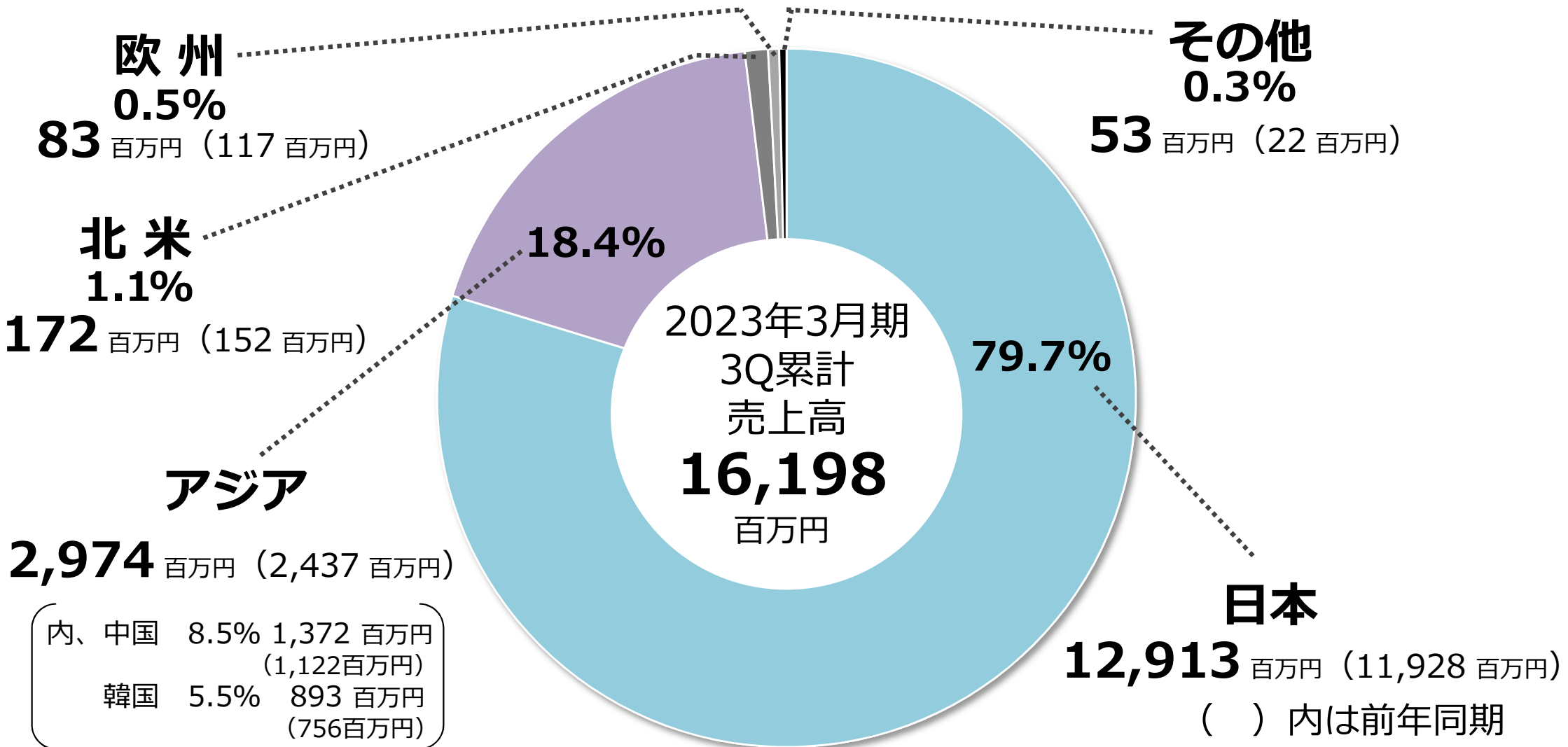
科目	2022年3月末	2022年12月末	増減
流動資産	21,681	23,133	1,452
現預金	7,331	7,248	▲ 83
売上債権	7,595	6,823	▲ 771
棚卸資産	6,578	8,630	2,051
その他	175	430	255
固定資産	9,864	9,713	▲ 151
有形固定資産	5,566	5,456	▲ 110
無形固定資産	408	422	13
投資その他の資産	3,889	3,834	▲ 54
資産合計	31,545	32,846	1,300

科目	2022年3月末	2022年12月末	増減
流動負債	8,216	9,107	891
仕入債務	4,511	4,933	422
短期借入金	1,640	1,639	0
その他	2,064	2,533	469
固定負債	3,177	2,916	▲ 261
長期借入金	620	343	▲ 276
その他	2,557	2,572	14
純資産	20,150	20,821	671
株主資本	17,308	17,749	441
その他の包括利益累計額	255	371	116
非支配株主持分	2,586	2,700	113
負債純資産合計	31,545	32,846	1,300

自己資本比率：2022年12月末 55.2%、2022年3月末 55.7%

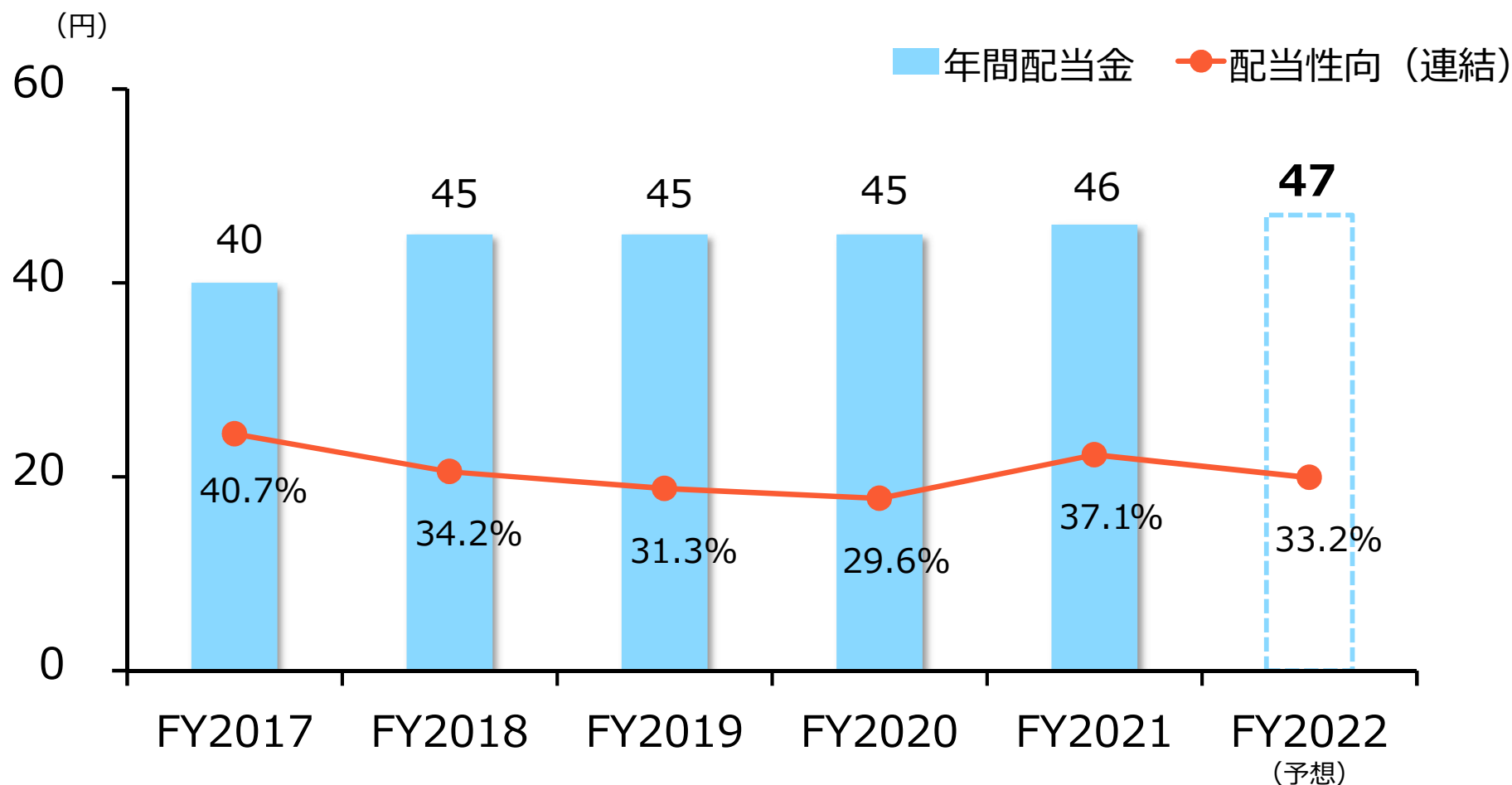
7) 地域別売上高

- 国内売上高は前年同期比985百万円の増収。海外売上高は前年同期比554百万円の増収（内、アジア地域(主に中国・韓国)で537百万円の増収)



2. 株主還元

- FY2022の1株当たり配当金（予想）は前期より1円増配の47円。



※自社株式取得：2016年12月～2017年5月に120百万円（100,000株）実施
自己株式消却：2017年7月に300,000株実施

3. トピックス

「チノーレポート2022」を発行

2022年10月に財務・非財務情報を統合的にご報告する「チノーレポート2022」を発行しました。

本レポートは、**当社グループの事業活動および中長期的な経営の取組み**についてより一層深くご理解いただくことを目的として作成した年次報告書になります。是非、ご一読お願い致します。

(URL : https://www.chino.co.jp/csr/csr_report/)



(国内生産拠点の購入電力を100%再生可能エネルギーへ転換)

2022年7月より藤岡事業所における購入電力の再生可能エネルギーに転換が完了
これにより本社・全ての国内生産拠点の購入電力が100%再生可能エネルギーで調達

<事業活動におけるCO₂ (Scope1+2(※))排出削減>

- | | |
|-------------|---|
| 【2022年度見込み】 | 2020年度対比で約70%の排出削減 |
| 【2040年度目標】 | 事業活動のカーボンニュートラル（事業活動におけるScope1,2の温室効果ガス排出量完全ゼロ） |

※ Scope1 : 自社での燃料使用による温室効果ガスの直接排出量

Scope2 : 自社が購入した電力や熱の使用による温室効果ガスの間接排出量

今後も当社グループはサステナビリティ経営を推進し、事業活動を通じて「脱炭素社会」と「安全・安心な社会」の実現に貢献してまいります。

4.通期業績予想

通期業績予想（2023年2月9日修正発表）

- 部材供給不足やエネルギーコスト高騰等、先行きの不透明感は依然として継続している一方、第4四半期連結会計期間においても主要顧客の脱炭素社会に向けての堅調な需要が継続することおよび当第3四半期連結累計期間の業績進捗状況を踏まえ、通期業績予想(2022年5月13日公表)を修正

(百万円)

項目	FY2022 業績予想 (2023年2月9日発表)	FY2022 業績予想 (2022年5月13日発表)	増減	増減比 (%)
売上高	23,600	23,300	300	1.3
営業利益	1,750	1,550	200	12.9
経常利益	1,950	1,800	150	8.3
当期純利益 (親会社株主に帰属)	1,200	1,100	100	9.1

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社およびグループ各社が現時点で入手可能な情報に基づいており、この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

CHINO